

登録コード	E6104900	開講年度	2026				
授業科目	肢体不自由教育課程演習				担当教員	丹野 傑史	
英文授業名	Seminar in education curriculum for children with physical disability				副担当	楠見 友輔・宮地 弘一郎	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・1時限	対象学生	3
講義室	教育E 201		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	教師の役割を自覚し、児童生徒に真摯に向き合って指導計画を考えることができる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	自立活動の指導について、適切な実態把握に基づき指導すべき課題を導くことができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	肢体不自由特別支援学校、特別支援学級における教育課程編成の基本的事項を理解するとともに、教育課程の中核的事項である自立活動の基本理念・指導手続きについて理解する。 自立活動の指導については、実態把握のプロセスと具体的な実態把握の方法、外部専門家との関連等について理解を図る。						
(5)授業計画	第1回：特別支援教育(肢体不自由)における教育課程編成とカリキュラム・マネジメント 第2回：肢体不自由児に対する指導（1）運動・認知特性の理解と指導・支援 第3回：肢体不自由児に対する指導（2）各教科等の指導と自立活動 第4回：肢体不自由児の理解（1）肢体不自由の障害特性理解と各教科・自立活動～脳性まひ～ 第5回：肢体不自由児の理解（2）肢体不自由の障害特性理解と各教科・自立活動～二分脊椎／進行性筋ジストロフィー／その他の肢体不自由～ 第6回：自立活動の基本的な考え方（1）自立活動の理念・内容 第7回：自立活動の基本的な考え方（2）自立活動の進め方 第8回：自立活動の実際（1）個別の指導計画の作成手続き～実態把握を中心に～ 第9回：自立活動の実際（2）個別の指導計画の作成手続き～指導すべき課題の析出／目標設定を中心に～ 第10回：自立活動の実際（3）指導と評価 第11回：自立活動と関連事項（1）各教科の指導と自立活動 第12回：自立活動と関連事項（2）各種検査の活用 第13回：自立活動と関連事項（3）他職種との連携 第14回：自立活動と関連事項（4）ICT機器の活用、合理的配慮・授業アンケート ・第4回、第5回、第12回～第14回は学生によるプレゼンテーションを行う。 ・第8回から第10回はグループワークによる演習を行う。 ・全14回中一部の内容について、集中講義で行う場合がある。 ・本科目は非常勤講師による授業のため、教育実習等における欠席分の補講については原則として行わない。履修登録にあたり十分留意しておくこと。						
(6)成績評価の方法	・授業内容の習得状況について小テストまたはレポート課題を行う。 ・グループによるプレゼンテーションを評価する。 ・小テストおよびレポート課題の評価とプレゼンテーションの評価の割合は、6:4とする。						
(7)成績評価の基準	肢体不自由児教育の自立活動、発達支援プログラム、アセスメントにかかわる基本的な知識および技能の理解について、小テストおよびレポート課題の結果、 授業で解説した内容と同レベルの問題が解ければ「水準にある(可)」， これに加えて、プレゼンテーションで課題が適切に整理されていれば「やや上にある(良)」， 課題の背景を説明できており既存の学説との整理が行われていれば「かなり上にある(優)」， その上で自分の見解を提示できており、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している(秀)」 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(8)事前事後学習の内容	それぞれのプレゼンテーションに関わる内容について、履修期間中の授業時間外に継続してグループで協議し、資料作成及びプレゼンテーション準備を行うことを事前学習として課す。プレゼンテーション後の修正及び追加課題の作成を事後学習として課す。なお本科目は、授業と授業時間外での自学自習とを合わせて90時間程度の学習を原則とする。						
(9)履修上の注意							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問、相談については、以下のメールアドレスから受け付けます。 丹野：takahito-tanno@nagano.ac.jp 楠見：kusumi@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	・毎時間配付される資料をテキストとして用いる。						

【参考文献】	・授業の中で、各内容に応じて紹介する。
--------	---------------------